

2021年広島、2022年長崎につづく、3年目となる「平和への祈り」

～ PRAYER FOR PEACE CONCERT IN KAWASAKI ～



平和祈念コンサート in 川崎



田久保 裕一



荅 道子



立川 かずさ



吉田 宏



近藤 圭

出演

指揮 田久保 裕一
 ソリスト 荅 道子 [ソプラノ]
 立川 かずさ [アルト]
 吉田 宏 [テノール]
 近藤 圭 [バリトン]
 管弦楽 ジャパン フェスティバル オーケストラ
 Japan Festival Orchestra
 (コンサート ミストレス：天野 克子)
 合唱 ジャパン フェスティバル コーラス
 Japan Festival Chorus
 (合唱指導：下村 郁哉)
 チェロアンサンブル チェリッシモ ジャパン
 Cellissimo JAPAN
 (コンサート ミストレス：堀 沙也香)

曲目

【第1部】～ チェロアンサンブルによる鎮魂と祈り ～
 カタルーニャ民謡：鳥の歌
 賛美歌：アメイジング・グレイス
 三枝 成彰：チェロの為のレクイエム ほか

【第2部】～ オーケストラと合唱による平和への賛歌『第九』～
 L.v.ベートーヴェン：交響曲 第9番 二短調 作品125



天野 克子



下村 郁哉



堀 沙也香

2023年 **8/25** (金) **18:30** 開演
 (18:00 開場)

ミュージア川崎シンフォニーホール

(〒212-8557 神奈川県川崎市幸区大宮町 1310 Tel.044-520-0100)
 JR 川崎駅 中央改札から徒歩 3分 / 京急川崎駅 中央口改札から徒歩 8分

入場料 S席 3,000円 | A席 2,000円 | B席 1,000円

【チケット取扱い】

- ミューザ川崎シンフォニーホールチケットセンター
 TEL:044-520-0200 (10:00～18:00)
- チケットぴあ [Pコード：245-992]
- 一般社団法人 国際親善音楽交流協会
 TEL: 03-3406-3355 / 080-4803-6734 (岩本)
 E-Mail: ticket@igmea.com
 (平日 10:00～18:00 *土・日・祝日休み)



2023年3月 JFO&JFCスペシャルコンサート「復活」公演より



指揮 / 田久保 裕一 *Yuichi Takubo*

東京学芸大学音楽科卒業。チェロ・室内楽・指揮を学ぶ。1980年～1992年まで12年間、千葉県習志野市にて小中学校の音楽教師を務める。1992年に退職しプロの指揮者に転向。1992年～1993年、スイスとウィーンでリヒャルト・シューマッヒャー、カール・エスターライヒャー、湯浅勇治、ハンス・グラーフの各氏に師事。1994年11月、ルーマニア・ブラショフ市で開催された第4回「ディス・ニクレスク」国際指揮者コンクールにてグランプリ、審査員特別賞と聴衆特別賞を受賞。その後ルーマニア国内をはじめウィーン、ザルツブルク、ニューヨーク、ベルリン、カザフスタン、ソウル、ベトナム、中国など世界各地で多数指揮をしている。1000人のチェロ・コンサートでは2010年(広島)、2015年(仙台)と指揮を務めた。そのほか震災被災地支援演奏や追悼演奏などにも多数参加している。これまでに、国内の主要オーケストラを指揮。また全国のアマチュアオーケストラや合唱団の育成にも尽力。エネルギーが熱い人柄で、行く先々で音楽ファンをふやし、地域文化の活性化に役買っている。また合唱指揮法DVD「指揮のABC」と「田久保先生の熱血指揮クリニック」は大好評で重版が続いている。現在、国立音楽大学講師、日本指揮者協会幹事、日本吹奏楽指導者協会会長、2002年より中国内モンゴル民族歌舞劇院交響楽団名誉客演指揮者。
[ブログ] 田久保裕一のミュージックプラザ

ソプラノ / 荻道子 *Michiko Tsubomi*

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学大学院音楽研究科修士課程修了。在学中、音楽学部卒業演奏会「同声会」、「第69回読売新人演奏会」、「芸大モーニングコンサート」第25回「台東第九公演」のソリストに選抜され出演。多摩六都音楽コンクール入賞。第3回座間日本歌曲コンクール第一位、第30回奏楽堂日本歌曲コンクール入選。これまでに、ヴィバルディ「グローリア」、ヘンデル「メサイア」、フランク「荘厳ミサ」、プーランク「スターバト・マーテル」グローリア、フォーレ「レクイエム」、モーツァルト「ミサプレヴィウス」レクイエム「戴冠ミサ」「ハ調ミサ」「ミサソレムニス」、ヴェルディ「レクイエム」、ジョンラター「レクイエム」、メンデルスゾーン「賛歌」、シューマン「レクイエム」、ブラームス「ドイツレクイエム」、グノー「ロミオとジュリエット」ステファノ役、メノッティ「霊媒」ゴビノ夫人役などに出演。三塚直美 多田羅迪夫 佐々木典子 河井弘子の各氏に師事。

メゾ・ソプラノ(アルト) / 立川 かずさ *Kazusa Tachikawa*

東武蔵野音楽大学卒業。(財)日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第15期修了。ウィーンにてレッスンを受けコンサートに出演。1997年より新国立劇場合唱団メンバーとして活動を始め、他でもオペラソリストや宗教曲アルトソリストとしても活躍。2007年藤原歌劇団「リゴレット」にて、チェブラーノ伯爵夫人役にて同歌劇団デビュー。又、声楽指導や合唱指導にも定評があり、八ヶ岳音楽祭の合唱指導にも関わる。宗教曲では、バッハ「口短調ミサ」、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト「戴冠ミサ」「レクイエム」、ヴィバルディ「グローリア」、ロッシーニ「小ミサソレムニス」、ベートーヴェン「ミサソレムニス」「交響曲第9番」、ヴェルディ「レクイエム」等でソロ出演。オペラでは《魔笛》童子3・侍女3役、《アンドレアシェニエ》マデロン役、《蝶々夫人》スズキ役、《カルメン》タイトルロール・メルセデス役、《こもり》オルロフスキー役等で数々の団体に出演。国際親善音楽交流協会関連の演奏会で、ウィーンのエムゼックフェリアにてベートーヴェン「交響曲第9番」、ベルリンのベルリンフィルハーモニーホールにてヴェルディ「レクイエム」、習志野文化ホールにてマラー「復活」のアルトソリストに出演。藤原歌劇団準団員、新国立劇場合唱メンバー。

テノール / 吉田 宏 *Hiroshi Yoshida*

千葉県出身。東京理科大学、東京藝術大学声楽科卒業。テノールソリストとしてベートーヴェン「第九交響曲」、J.S. バッハ「マタイ受難曲」、「ヨハネ受難曲」福音史家などを務めるほか、アンサンブルグループでの演奏も多く行う。また首都圏において合唱団の指揮・指導も務め、邦人合唱作品の初演などの活動や、「第九交響曲」等の合唱指揮のほか、ボイストレーナーとしても活動している。

バリトン / 近藤 圭 *Kei Kondo*

長野県出身。国立音楽大学大学院首席修了、新国立劇場オペラ研修所第9期修了。ローマ ミュージック ファンデーション奨学金を得て、ドイツ・ハンブルクに留学。『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロールでオペラデビュー。小澤征爾指揮『子どもと魔法』大時計役、新国立劇場『夏の夜の夢』ディミートリアス役等、これまで演じた役は50を超える。中でも『魔笛』パパゲノ役は当たり役とされ、新国立劇場、東京二期会、日生劇場等の劇場に出演し、新国立劇場で演じた様子は小学4年生の教科書にも掲載されている。2022年には、東京二期会『フィガロの結婚』(宮本亜門演出)フィガロ役したのをはじめ、新国立劇場において『魔笛』パパゲノ役、同劇場鑑賞教室『蝶々夫人』シャープレス役等で出演。本年も、びわ湖ホール『ニュルンベルクのマイスタージンガー』ナハティガル役や、兵庫県立文化センター『ドン・ジョヴァンニ』マゼット役で出演する等、活躍を続けている。この他、『第九』や『カルミナ・ブラーナ』、フォーレ、モーツァルト『レクイエム』などのコンサート・ソリストとしても活躍。東京二期会会員。

チェリッシモ ジャパン チェロアンサンブル / *Cellissimo JAPAN*



2021.8.15. 広島国際会議場フェニックスホール「平和祈念コンサート in 広島」より

1995年に起こった阪神淡路大震災の復興祈念として全国からチェロ奏者が集まり、1998年に第1回1000人のチェロ・コンサートを開催以後、2001年に第2回、2005年に第3回と神戸で開催、2010年には第4回を広島で開催。2015年第5回公演は東日本大震災復興祈念として仙台で開催され、広島と仙台では田久保裕一が指揮を執り好評を得た。2018年にはニューヨークのカーネギーホールにてチェリッシモ・ジャパンとして日米親善コンサートに出演。2019年には、2018年に中国地方を襲った集中豪雨により被害を受けた方々への復興支援を目的に、広島在住の奏者を中心にチェロアンサンブル AKI が結成され、1000人のチェロ・コンサートで培ってきたノウハウをもとに復興支援コンサートを開催。2021年8月15日に広島平和記念公園内のフェニックスホールにて開催された「平和祈念コンサート in 広島」では、チェロアンサンブル AKI のメンバーを中心に、広く全国から仲間を集めてチェロアンサンブルを再結成し、終戦記念日に広島で平和の祈りの音楽を届けた。また2022年8月には再び全国から有志が集まり、新進気鋭のチェリスト宇野健太氏をコンサートマスターに迎え、祈りの場・浦上天主堂にてチェロアンサンブルによる鎮魂と祈りを捧げた。

コンサートミストレス / 堀 沙也香 *Sayaka Hori*

7歳よりチェロを始める。松波恵子、岩崎洸河氏に師事。東京音楽大学付属高等学校、同大学を卒業。在学中7年間、特待生奨学金を受ける。第76回読売新人演奏会に出演。その後、桐朋学園大学院大学にてさらに研鑽を積む。在学中、秋山和慶指揮・桐朋アカデミーオーケストラとコンチェルトを共演。NHK-FM リサیتال、毎日新聞主催小児ガン制圧チャリティーコンサート、JTが育てるアンサンブルシリーズ、山陽放送チャリティーコンサートをはじめ、数々の演奏会に出演。倉敷音楽祭、沖縄国際音楽祭、イタリアに於けるシラオー国際音楽祭、京都国際音楽学生フェスティバル、別府アルゲリッチ音楽祭、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャパンなどにも参加している。2011年より各年で父・堀了介と共に中国より招聘され、大連・瀋陽にて演奏会を開く。これまでに、父とのデュオCD『花のワルツ』、『アヴェ・マリア』をリリース。e-onkyo music より、ハイレゾ・マスター録音アルバム『堀沙也香「ハイレゾで聴くチェロの豊かな響き」』をダウンロード配信中。東京チェロアンサンブルメンバー。

ジャパン フェスティバル オーケストラ コーラス 管弦楽・合唱 / *Japan Festival Orchestra & Chorus*

ジャパン・フェスティバル・オーケストラおよび平和祈念「第九」合唱団は、指揮者 田久保裕一氏の提唱により海外公演のために全国から集まったメンバーにより結成され、国内外で多くのオーケストラを指揮し、その音楽性・人間性に定評のある田久保裕一氏の指導・指揮のもと、音楽の繊細さ、高い音楽性と表現力、そして正確さとなややかにあふれた演奏を披露する。これまでに2010年ウィーン 楽友協会大ホール、2011年ニューヨーク リバーサイド大聖堂、2013年ウィーン シュテファン大聖堂、2014年ザルツブルクモーツァルトテウム大ホール、2016年ウィーン 楽友協会大ホール、2018年ベルリン フィルハーモニーホール、2019年習志野文化ホール(帰国演奏会)、2021年広島国際会議場フェニックスホール(平和祈念コンサート)などで演奏し、好評を博した。2022年1月にはサントリーホールにて「JFO 新春スペシャルコンサート～ラフマニノフの夕べ～」を、4月には東京国際フォーラムにて「ベートーヴェン生誕250周年記念「第九」特別コンサート～2年の時を経て～」、8月には長崎・浦上天主堂において「平和祈念コンサート in 長崎」、2023年3月には習志野文化ホールにて「復活」特別コンサート、4月には軽井沢大賀ホールにて「ウクライナ支援 平和祈念コンサート」を開催し、大成功を収めた。コロナ禍の中においても精力的に活動を続け、平和支援(募金)活動等にも貢献している。



2022.8.11. 長崎 浦上天主堂『平和祈念コンサート in 長崎』より

コンサートミストレス / 天野 克子 *Katsuko Amano*

東京芸術大学卒業。大阪フィルハーモニー1st ヴァイオリン奏者、昭和音楽大学ヴァイオリン講師を経て、現在、神奈川県で厚木交響楽団のコンサートミストレス、伊勢原音楽家協会理事長、二葉会を主宰し多くの演奏家を育てている。指揮者 長野力哉氏とブルックナー連続演奏を目指してリキフィルハーモニエスオーケストラのコンサートミストレスを務め、これからのライフワークとして矢先、コロナ感染症で指揮者を見失った。2019年彼とブルックナーの眠るザンクト・フローリアン大聖堂でブルックナーを演奏できたことは歴史的出来事である。田久保裕一氏とは厚木交響楽団の客演指揮者として何度もお招きし共演している。また彼の海外演奏会では、ウィーン、ザルツブルク、アメリカ、ドイツなどでコンサートミストレスとして参加している。

合唱指導 / 下村 郁哉 *Ikuya Shimomura*

鹿児島県出身。武蔵野音楽大学卒業。指揮法を黒岩英臣、ヘルムート・リリンク。管弦楽法を石丸寛。和声対位法を萩原英彦、田中均。声楽を疋田生次郎。ピアノを渡辺規々雄の各氏に師事。1987年プロ混声合唱団、東京カンマーコアに入団。指揮者としても活躍する。1991年新日本フィルと東京カンマーコアを指揮してデビュー。「音楽の友」「音楽芸術」他数誌より「指揮者として将来大きな期待を感じさせる」と評される。これまでに海外公演はオーストリア、ドイツ、スペイン、チェコ、フランス、スイス、ハンガリー、ロシア、中国に加え、ベルリンフィルハーモニーホールやウィーンの楽友協会ホール、シュテファン大聖堂など、世界の名門ホールでの公演も多数。ベートーヴェンの第九を長年に渡って研究しており、その研究に裏付けされた解釈と指導には全国にファンも多く、「サントリー1万人の第九」「国技館すみだ5000人の第九」など、佐渡裕氏はじめ第一線に立つ著名な指揮者からの信頼も絶大である。日本ベートーヴェン協会の会長も務める。現在、各合唱コンクールの審査員や合唱祭の講評者を務める他、合唱団「郁の会」をはじめ、職場や学生などアマチュアコーラスの育成に携わっている。中・高校生を対象とした講演「感動は人を大きく変える」は大きな反響を呼び、夢を持つことの素晴らしさや大切さを若い世代に伝えている。本年6月4日(日)第一生命ホールにて下村郁哉「古希記念演奏会」開催し、好評を博した。